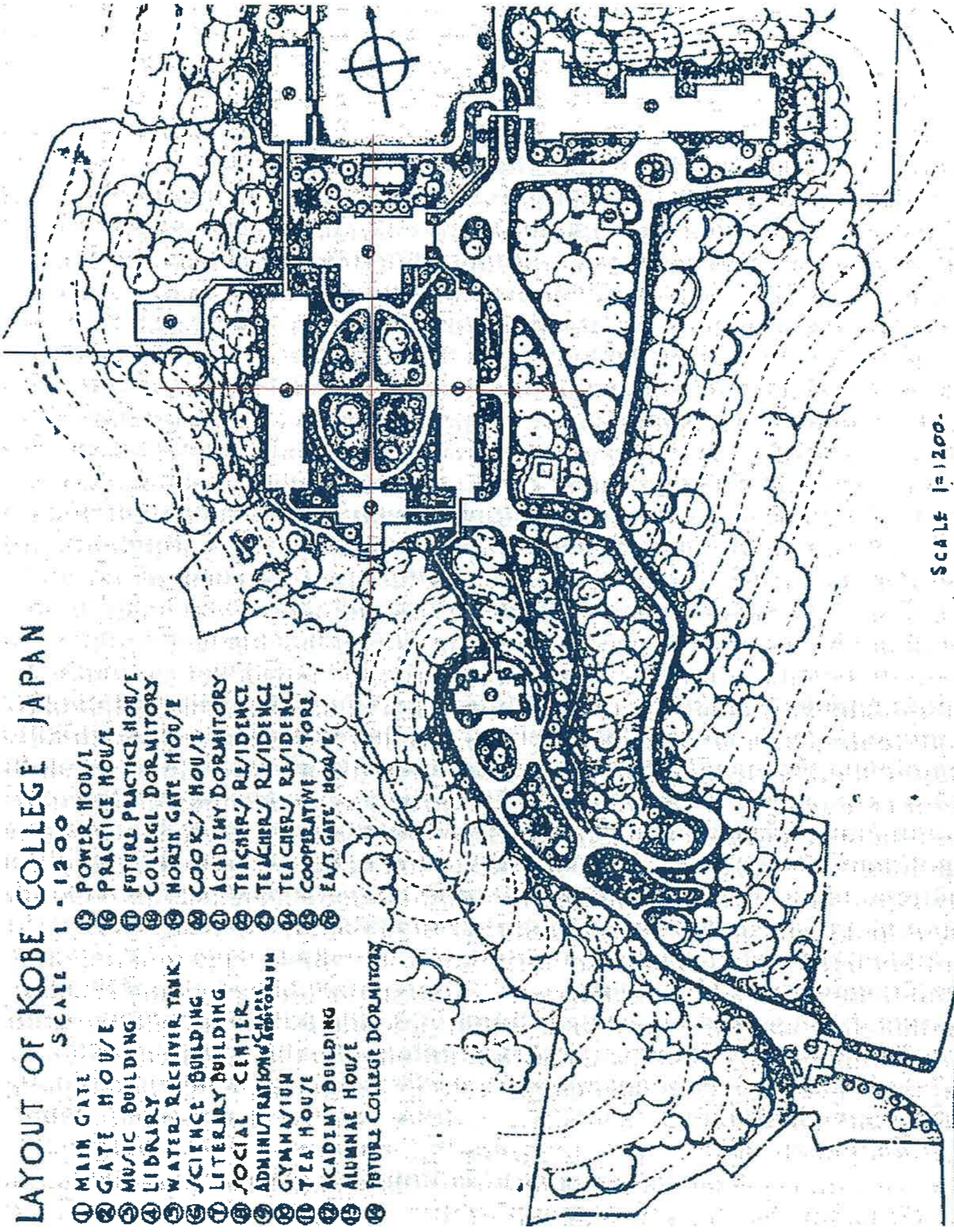


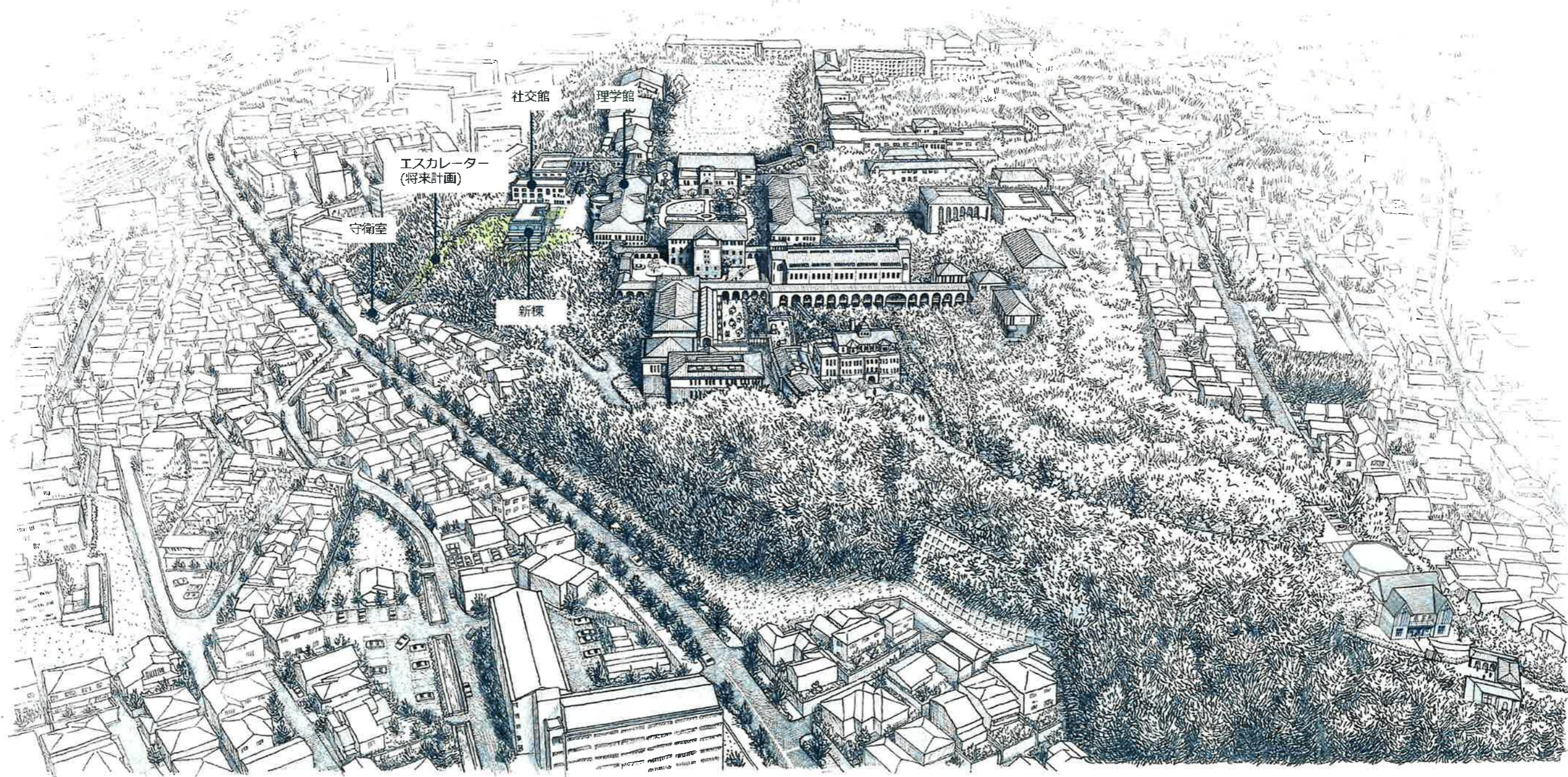
FRONT - ELEVATION -

神戸女学院 理学館西側地域再整備計画
完成イメージ

NIKKEN



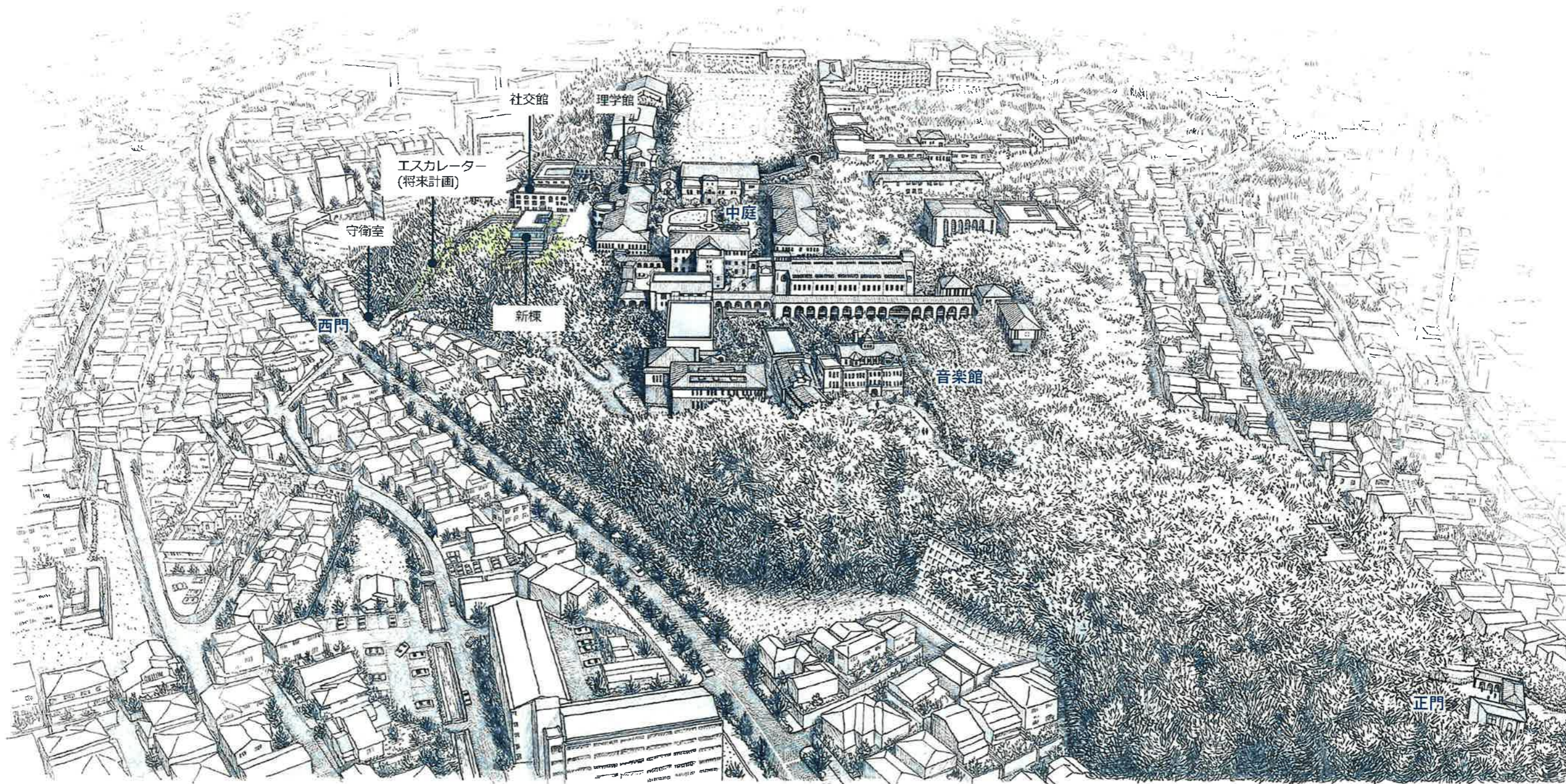
1930年11月当初のキャンパス配置図



遠景 鳥瞰イメージ

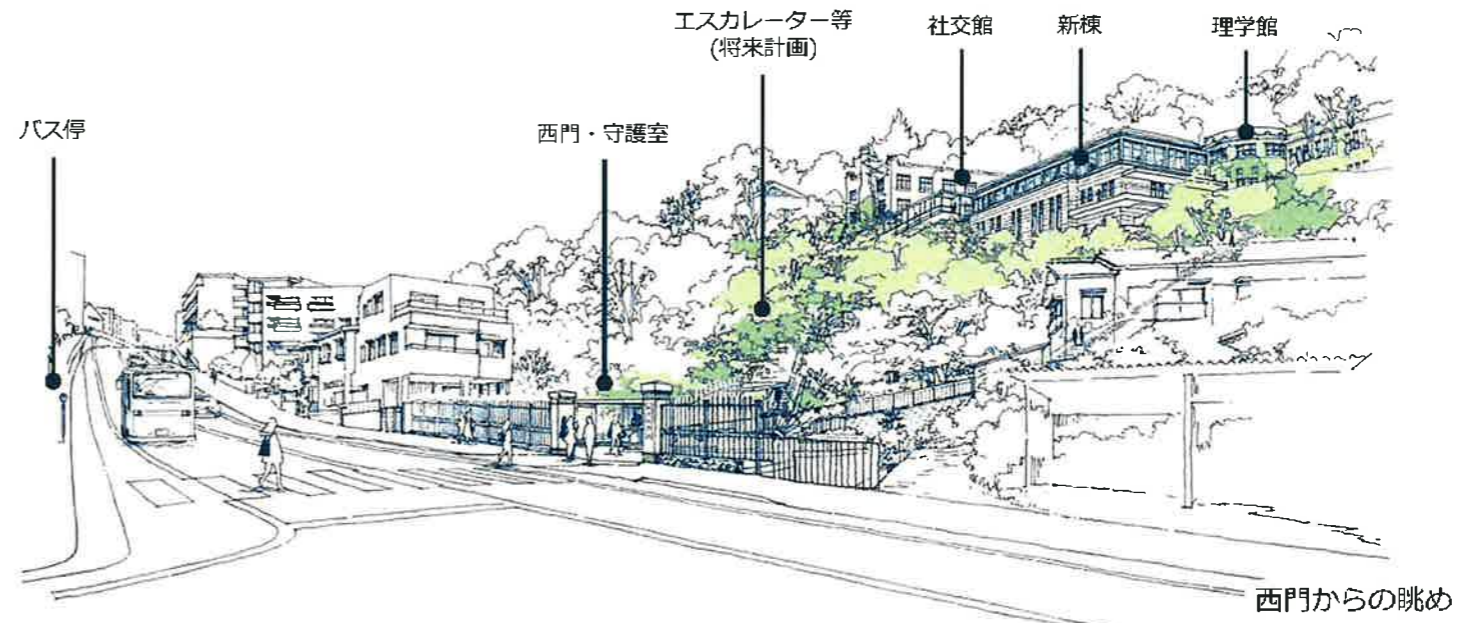
創立150周年に向けて神戸女学院に新たな顔を作ります。

新棟とともに、西門からの高低差の解消、歩車分離、理学館・社交館周りの整備を行います。

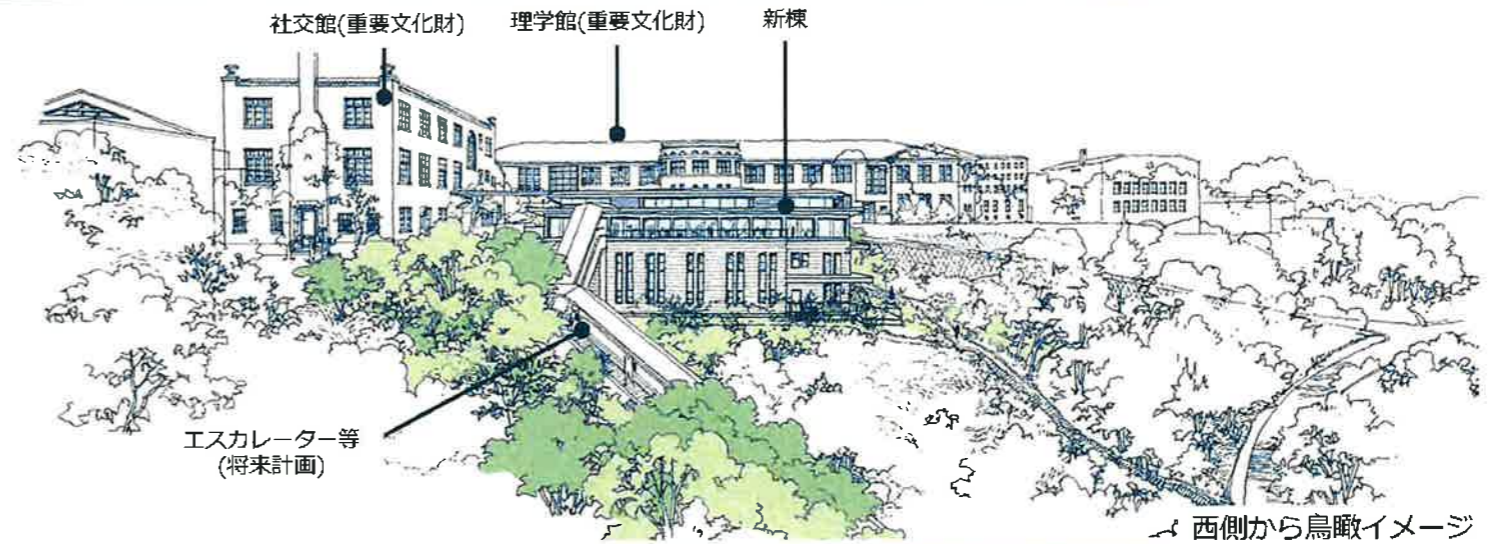


近景 鳥瞰イメージ

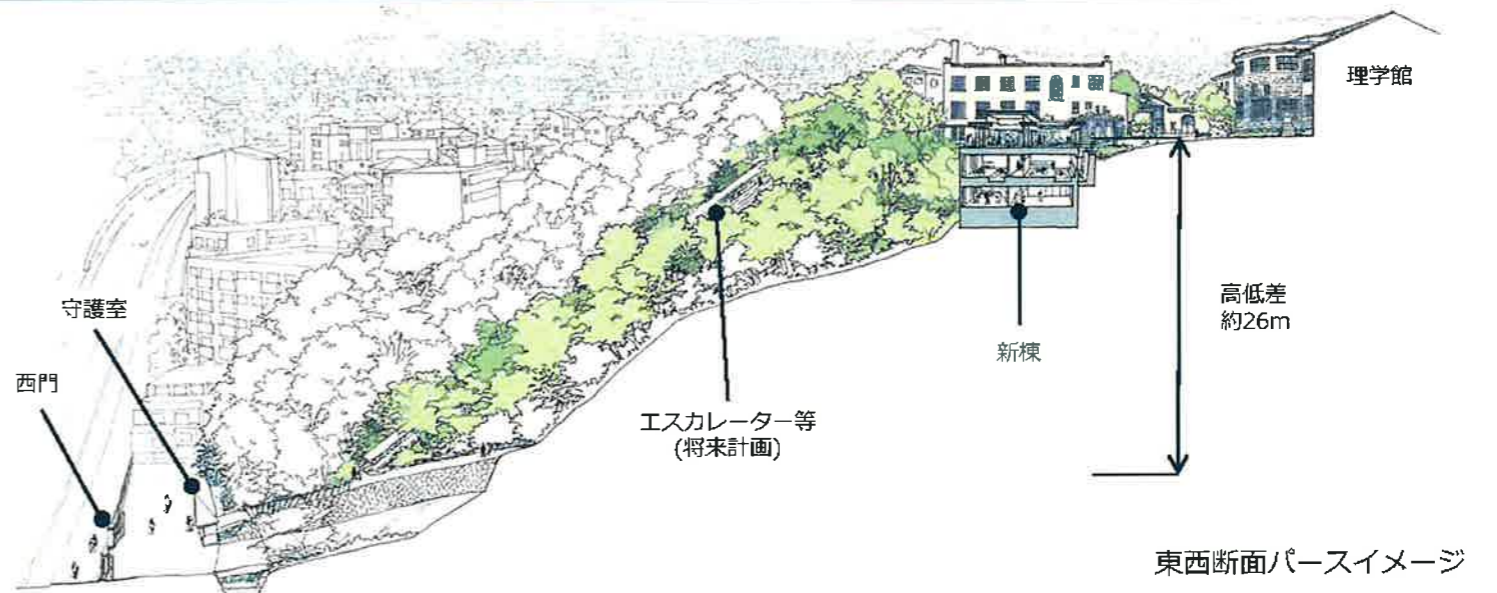
街に向けて開かれた
新しいキャンパスゲート



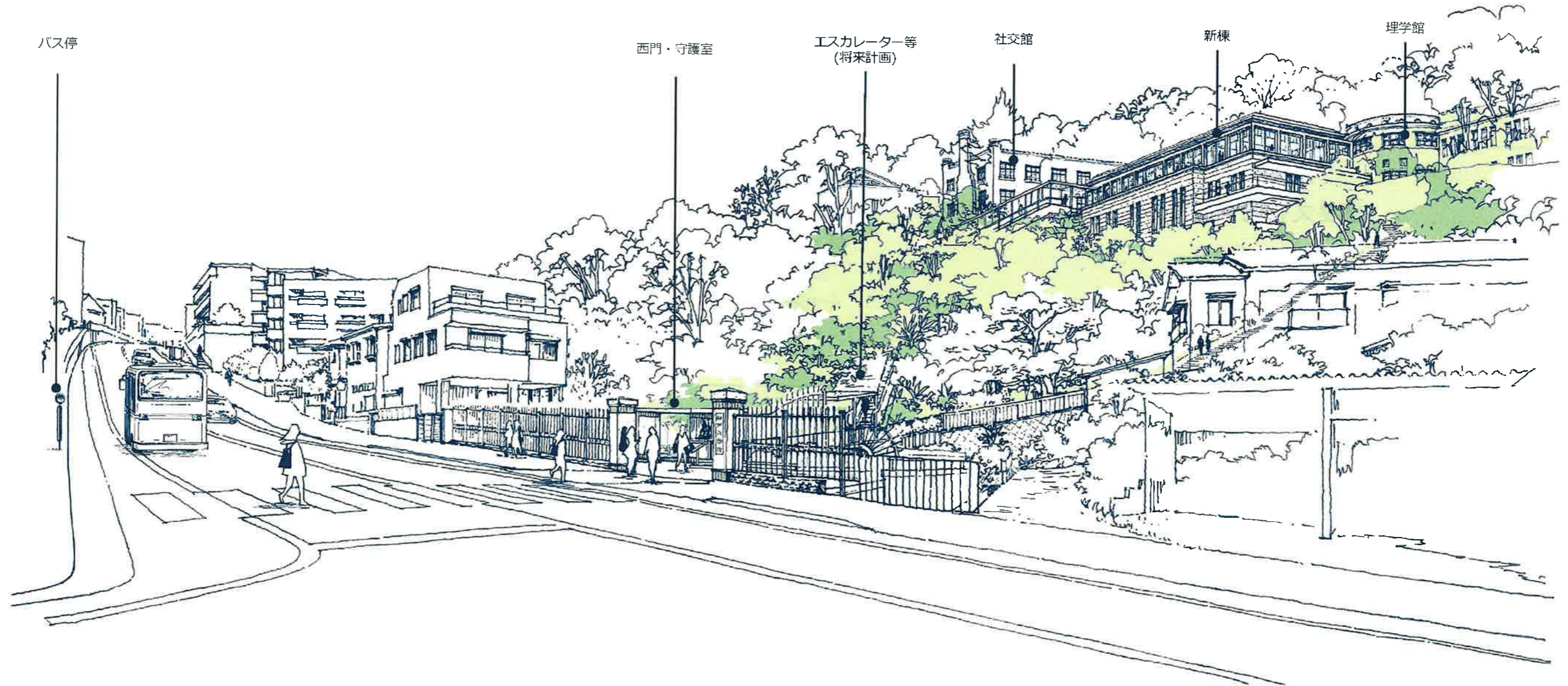
重要文化財を活かした
新しい顔づくり



歩車分離と高低差解消による
アクセス性と安全性の向上



街に向けて開かれた新しいキャンパスゲートをつくります



バス停

西門・守護室

エスカレーター等
(将来計画)

社交館

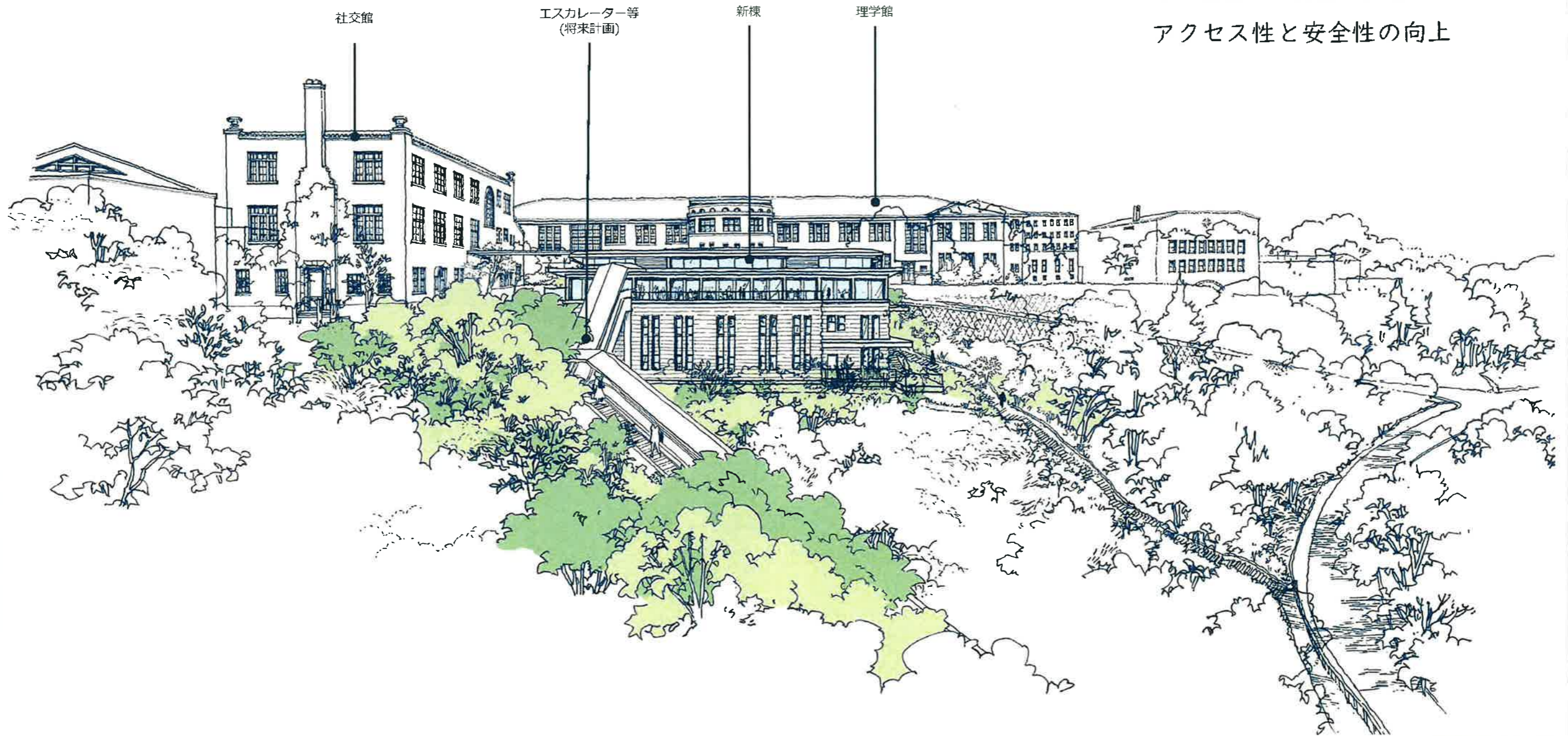
新棟

理学館

西門より望む

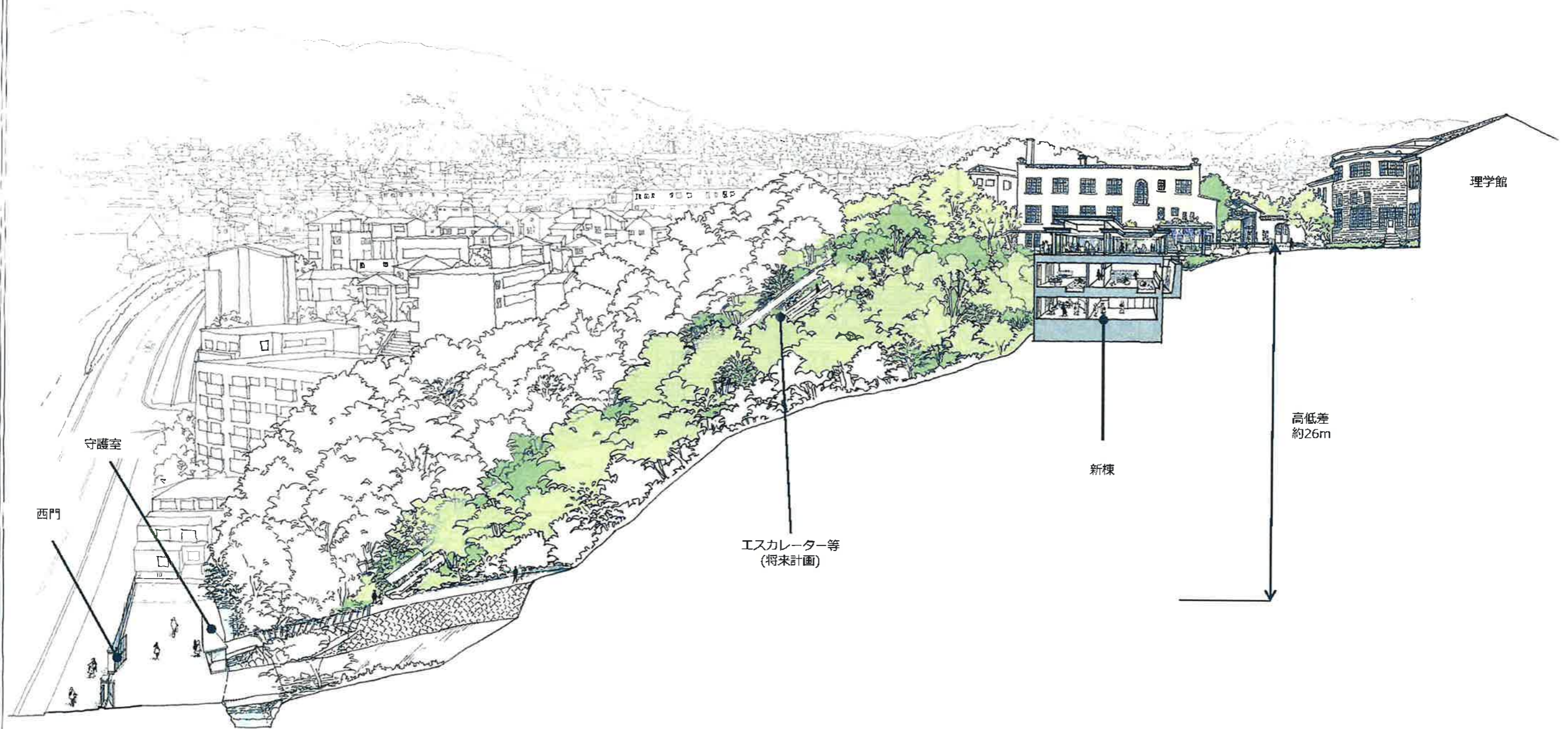
重要文化財を活かした新しい顔をつくります

歩車分離と高低差解消による
アクセス性と安全性の向上



西面正面イメージ

歩車分離と高低差解消により、アクセス性と安全性を向上させます



東西断面パースイメージ

理学館西側地域再整備計画

現況比較イメージ



現況:理学館別館で視界が遮られ、裏のような印象



完成後:視界が広がり、重要文化財が引き立つ

現況比較イメージ

KOBE COLLEGE

新棟の高さを抑えることで重要文化財を引き立たせます

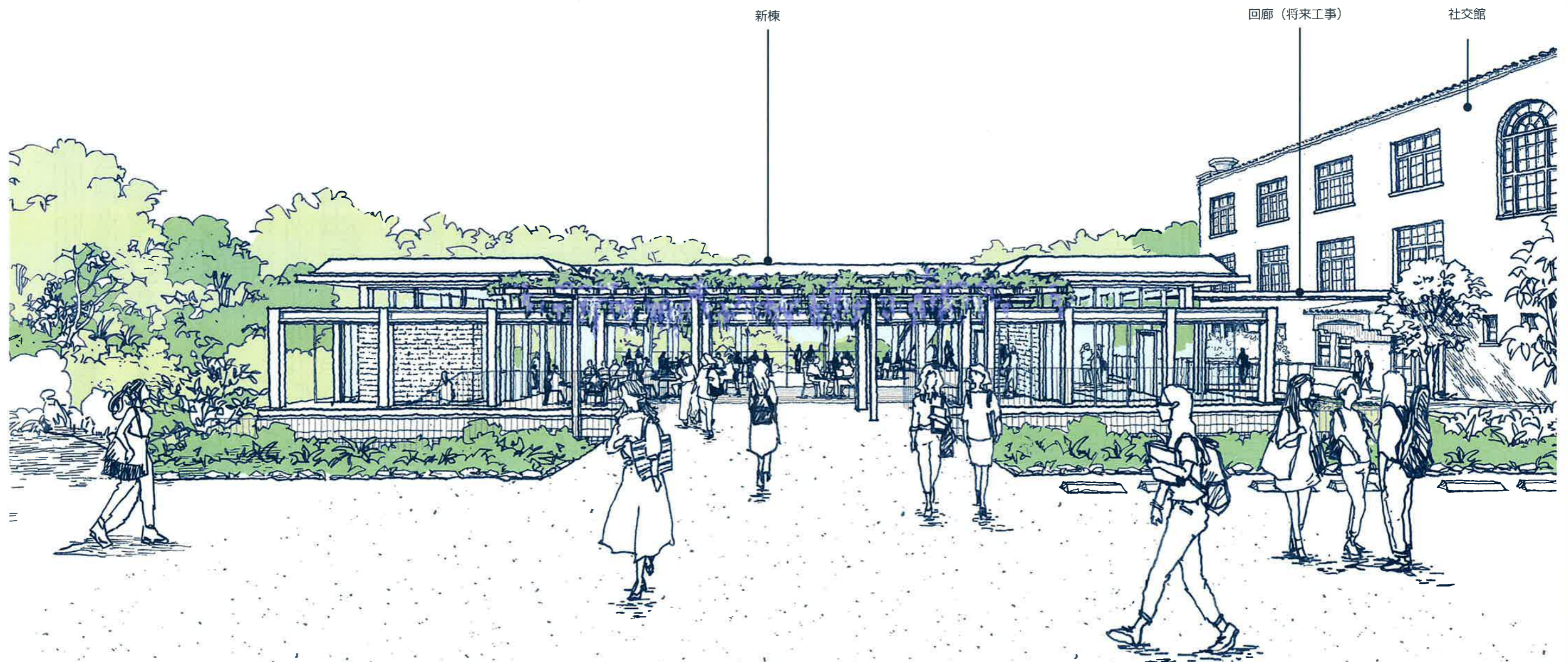
・ヴォーリズ建築のスタイルの模倣ではなく精神を引き継ぎます。



理学館前 南より望む

建物高さを抑え回廊のような佇まいとします。

- ・均整の取れたプロポーションにより建物に秩序を与えます。



新棟

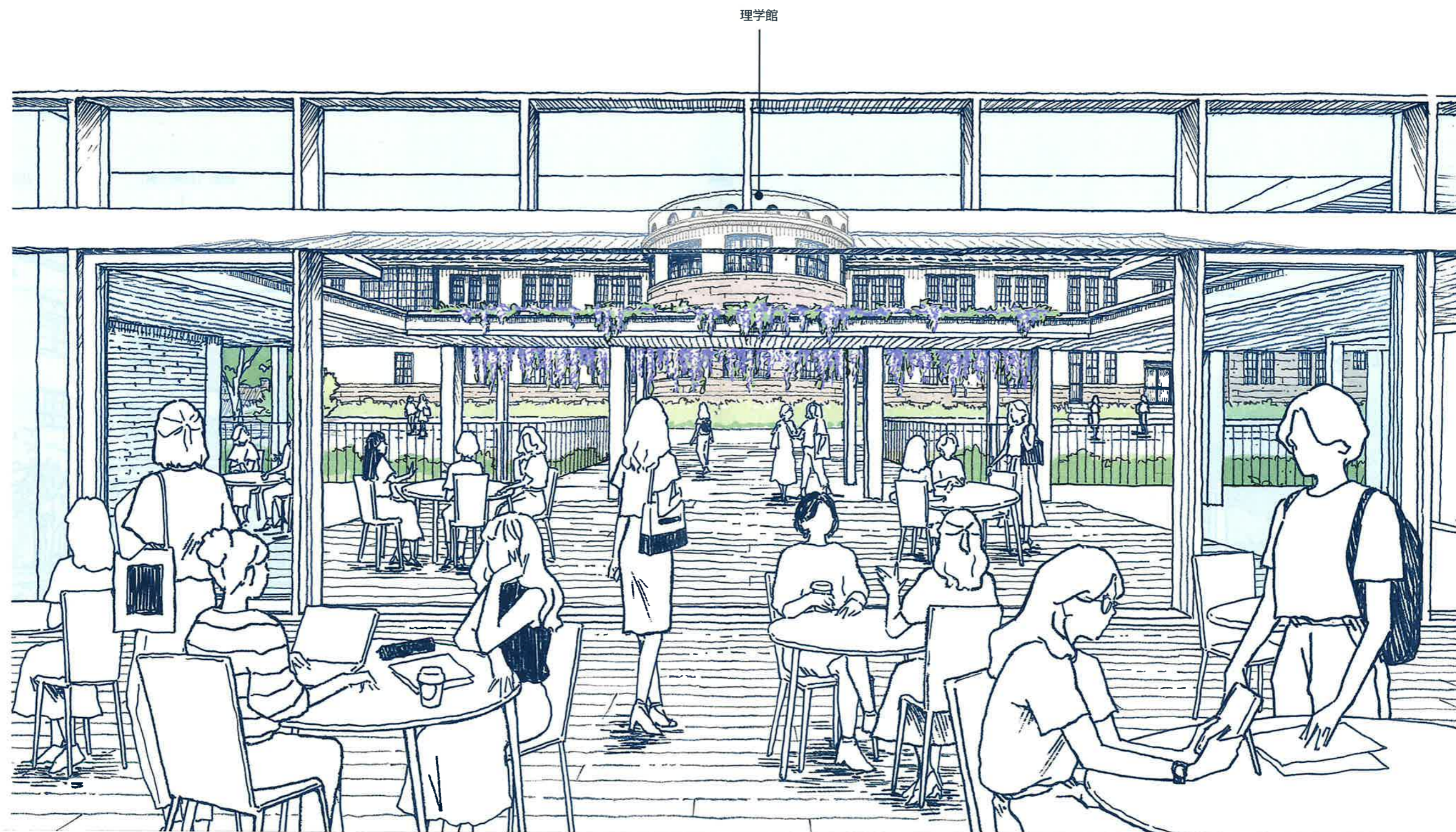
回廊 (将来工事)

社交館

理学館西側より新棟を望む

重要文化財のファサードの風景を切り取り新棟のインテリアに取り込みます。

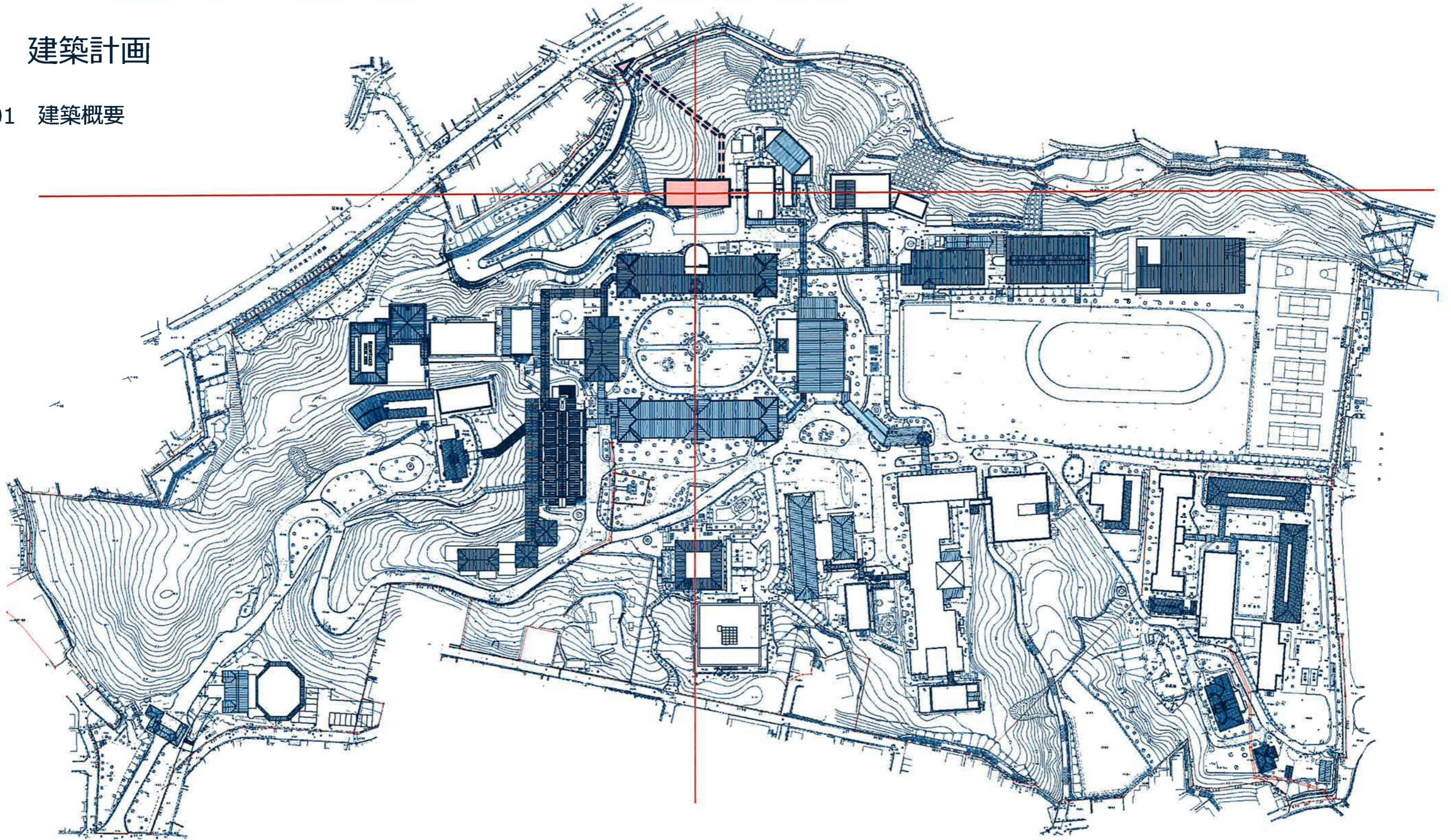
・ラウンジと中庭は建具を開放し内外一体利用ができるようにします。



新棟ラウンジから理学館を望む

1 建築計画

1-01 建築概要



■ 建築概要

- 建物名称：(仮称)神戸女学院 新棟
- 建築場所：兵庫県西宮市岡田山68-2、68-7、65-1の一部、他35筆
- 住居表示：兵庫県西宮市岡田山4-1
- 地域・地区
用途地域：第1種中高層住居専用地域
防火区域：指定なし、法22条区域
その他：市街化区域、第3種高度地区、東六甲山地区(第3種)風致地区、文教地区宅地造成規制区域、景観樹林保護地区、景観計画区域
- 敷地面積：123,685.97㎡
- 建築面積：372㎡
- 延べ床面積：970㎡
- 工事種別：新築
- 主要用途・階数：大学・地上1階、地下2階
- 構造種別：RC、S造

